

令和7年度松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会会議録

1. 日時 令和8年1月27日(火) 10時30分～11時30分

2. 場所 松江歴史館 歴史の指南所

3. 出席者

(1) 委員 浅沼 政誌(委員長)、松浦 哲次(副委員長)、
飯塚 真敏、野津 照雄、古藤 弘巳、安部 登、花形 泰道

(2) 事務局

(松江市)文化スポーツ部長 桑原 賢司、事務局長 岡田 美穂、学芸係長 大島 典子、
新庄 正典、笠井 今日子、安部 万智、武田 瑞穂

(指定管理者)株式会社さんびる 施設管理部長 植野 裕之、
松江歴史館支配人 平井 利和

4. 内容 (1) 開会

(2) 部長あいさつ

(3) 新任委員の紹介

(4) 議事

①令和6～7年度の運営状況について

②令和8年度の運営方針について

③その他

(5) 閉会

5. 会議経過

(1) 開会

岡田事務局長 ただいまより、令和7年度 松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会を開催させていただきます。

私は、松江歴史館事務局長の岡田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、松江市文化スポーツ部の桑原部長より挨拶申し上げます。

(2) 部長あいさつ

桑原部長 文化スポーツ部長の桑原でございます。よろしくお願いいたします。開会に先立ちまして、平成28年の12月から約8年間委員をお勤めいただきました

松浦俊彦委員が昨年3月1日にご逝去されました。松浦委員におかれましては、委員としてホーランエンヤを広く周知するための多くの意見をいただきました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

さて、本日はお忙しいところ松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、先ほどは伝承館の展示視察をしていただき、ありがとうございました。

前回のホーランエンヤが開催されてから早いもので7年がたとうとしています。松江ホーランエンヤ伝承館でも、ホーランエンヤの伝統を次世代に伝えていくとともに、次回のホーランエンヤに向けて、五大地を含む関係の皆様はもとより市民の皆様と一緒に、機運を高めていかなければならないと考えているところでございます。

そのために、ホーランエンヤについての出前講座を行ったり、小学生に伝承館を案内するなど、子ども達に関心をもってもらい取り組みを行っているところです。また、多目的ホールでは、ホーランエンヤについてより関心を高めてもらえるような展示を計画的に行っていくこととしており、現在は馬潟地区様にご協力いただき「権伝馬船を彩る巨大な飾り」の展示を実施しています。

本日は、伝承館での取り組み報告と来年度の運営方針についてお話ししたいと思っています。できるだけたくさんの方にホーランエンヤの魅力を伝えていくために、皆様方にご意見をいただきながら積極的に取り組んでまいりたいと思っておりますので、本日は忌憚のないご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

岡田事務局長 続きまして、指定管理者の(株)さんびるの植野部長から一言ご挨拶申し上げます。

植野部長 失礼いたします。皆様おはようございます。私、指定管理者さんびるの施設運営部の植野と申します。本日は宜しく願いいたします。私たちさんびるは、指定管理者としてもですが、地域とともにということで、地域の皆様と一緒に様々な事業を展開しております。令和8年度からも指定管理者として当館を管理運営いたしますので、引き続き皆様にはいろいろとご支援いただきますようよろしくお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。

岡田事務局長 それでは、はじめに資料を確認させていただきます。まず、「会議次第」、「出席者名簿」、「席次表」、ホチキス止めしてある「会議資料」がございます。このほかに、松江歴史館 NEWS「MATSUREKI」をお配りしています。

ここで、委員の皆様の本日の出席状況についてご報告いたします。本日は、

委員 8 名のうち、稲場英司委員がご欠席ですので 7 名のご出席をいただいております。「松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会規約」第 5 条第 2 項の規定により、過半数の委員の出席をいただいておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは次第に従いまして会議を進めさせていただきます。

(3) 新任委員の紹介

岡田事務局長 続いて次第 3 の新任委員のご紹介をさせていただきます。松浦俊彦委員の急逝に伴い、令和 7 年 9 月 1 日から松江商工会議所の花形泰道専務理事に委員の委嘱をさせていただいたところです。

花形委員から一言、自己紹介をお願いしたいと思います。

花形委員 皆さん初めまして。花形と申します。

岡田事務局長 ありがとうございます。

それでは次第に従いまして会議を進めさせていただきます。なお、発言の際はマイクをご使用いただきますようお願いいたします。

これより会議の進行は、同規約第 5 条第 1 項の規定により、浅沼委員長にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

浅沼委員長 それでは、私の方で会議の進行をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

なお、本日の審議内容は、非公開の案件はないと事務局の方から伺っておりますので、「松江市情報公開条例」に基づき、事務局で議事録を整理のうえ、情報公開したいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

(承諾)

(4) 議事

① 令和 6～7 年度の運営状況について

浅沼委員長 それでは、早速 4. の議事に入らせていただきます。

「①令和 6 年度から 7 年度の運営状況について」、事務局から説明してください。

大島係長 松江歴史館学芸係長の大島でございます。それでは、私の方からご説明いたします。会議資料の 1 頁をお開きください。まず、観覧者数の状況でございま

す。令和6年度の入館者数は7,060人で、令和5年度より1.15%の増となりました。特に11月は学校からの観覧数の増加により、昨年度と比べ619人増加しました。入館者は、約5割が松江歴史館を観覧された方でした。松江歴史館を観覧された方は、同日ならばホーランエンヤ伝承館も無料で入館することができます。しかし、松江歴史館の観覧者全体から見ると、ホーランエンヤ伝承館への誘導率は10.8%と少なく、さらに令和5年度の13.5%と比べ減少しました。一方で、外国人の入館者数については、240人で令和5年度148人に対して162%増加しました。特に中国や台湾等の東アジアからの観覧が多かったです。

また今年度の12月末までの入館者数は5,650人で、昨年度より2.2%の減となりました。今年度は学校の授業で利用来館する学校数が減ったことが要因の1つと考えられます。また、松江歴史館からの誘導率は10.1%で、昨年度の11%と比べ減少しています。歴史館の受付では、観覧者に対し、同日に松江ホーランエンヤ伝承館を観覧する場合、無料となる旨を伝える取り組みを行っています。こうした取り組みを継続して実施し、また、企画展示を行っていることも広報し、誘導率の増加を図りたいと思います。一方で、外国人の入館者数については223人で昨年度と比べ、41人増加しています。特に台湾からが多かったです。松江歴史館で、外国人に対し伝承館のチラシを今年度より配布したことも外国人が増加した一因と考えられます。引き続き行ってきたいと思います。

続いて、主な取り組みについてご報告いたします。引き続き資料は2頁をご覧ください。まず、教育・普及の取り組みについてご報告いたします。平成28年にスタートした松江城授業プロジェクトでは、市内の小学6年生が松江城と松江歴史館の見学を通して松江の歴史や文化を学んでいます。このプロジェクトでは、ホーランエンヤ伝承館のリーフレットを全児童に配布して学ぶ機会を提供するほか、できるだけ伝承館の見学をプログラムに取り入れていただくよう小学校に積極的に呼びかけています。その結果、全34校のうち令和6年度は19校、令和7年度は12校の見学がありました。授業プロジェクト以外にも、竹矢小学校、朝酌小学校から出前授業の依頼、市内中学校等から令和6年度は9校、令和7年度は5校からインタビューの依頼があり、歴史館職員が説明等をしました。

次に展示の状況についてです。令和7年度は多目的ホールを活用し、「権伝馬船を飾る巨大な飾り」の展示を8月5日より行っています。伝承ホーランエンヤ馬潟権伝馬保存会様から船の装飾品の実物（擬宝珠、大幟、吹き流し、提燈と提燈台など）を借用させていただき、展示することができました。この展示により、陸地から見ただけでは分からない権伝馬船の大きさ、その迫力を伝

えることができたのではないかと思います。あわせて、その装飾品の意味合いが分かるように解説文を作成し展示しました。

次に情報発信についてです。昨年度は、ホームページに「松江のホーランエンヤの記録選択」について掲載し、今年度は、松江市指定「ホーランエンヤ権伝馬踊り」について掲載しました。記録選択や市指定になっていることを知らない方もいらっしゃるのではないかと思います。ホームページに掲載し、その評価された点を伝えることにより、松江ホーランエンヤについてより知っていただければと思います。

次に施設の維持管理についてです。昨年度は中庭の権伝馬船の塗り替え等を行い、今年度は館のLED化改修を行いました。

以上で、令和6年度から7年度の運営状況についての説明をおわります。

浅沼委員長 ありがとうございました。ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等がありますでしょうか。

野津委員 大井の野津照雄ですが、ひとつ教えていただけますか。今、展示で馬淵さんにお世話になっているのが、令和8年7月20日までとなっていますが、そのあと8年度の説明があればと思ったのですが、ちょっとわからなかったもので、これについてはなにか次の展示についての計画はございますでしょうか。

大島係長 8年度のところで説明させていただければと思っているのですが、添付している別紙1の資料の方で、A4、1枚の資料なんですけれども、こちらの別紙1に基づきまして多目的ホールで展示の方をしていきたいなど考えているところです。なので、8年7月20日まで今の展示をさせていただきまして、次は9年度の展示に向けて準備を進めていきたいと考えております。

今後の内容については次の8年度の説明の際にさせていただきたいと思えます。

野津委員 分かりました。結構です。

浅沼委員長 他にございますか。

松浦委員 2点ほどお聞かせください。主な取り組みの中で、教育普及というところで、小学校の方は生徒さん方の見学が令和6年、7年とあるんですけれども、こちらに来られない学校と、来ている学校の差っていうのはどうゆうことで決まっているか。学校側が判断しているのか、それともまた違ったお願い事み

たいな形なのか。それとインタビューの対応ということで、具体的にはどうゆうことをされたのかなということをお聞かせいただければと思います。

大島係長 学校なんですけれども、来られた学校につきましては、市側からこういったコースがありますよと提示させていただきまして、そのうえで伝承館を見るコースもありますし、城と歴史館だけというコースもあり、それを提示した上で学校側で判断されまして、多分学校のスケジュールや日程によるものがあるかと思いますが、判断されまして手を挙げられた学校に対して対応しているような状況でございます。当方としましては「伝承館の見学もありますよ。」といった形でPRの方はしていきたいと考えているところです。

インタビューについてですが、大体中学1年生の方が多のかなという風に思っております。内容につきましては、学校の方からインタビュー内容を事前に送っていただきまして、それに対して当日お会いして回答させていただいているような形にしておりまして、どういった質問が多いかというところか「なぜ10年に1度なのか」「伝承がうまくいくための工夫はどのようなところか」「ホーランエンヤの名前の由来は」「なぜ川を通るのか」「櫓伝馬船の装飾の意味合いは」など、そういったところについて聞かれることが多いという風に思っております。また、インタビューにせっかく来ていただいたということで、インタビューだけでなく、時間があれば許す限り映像を見てもらったり、展示室を見てもらったりして、そういったことを呼びかけるようにしています。

松浦委員 はい。ありがとうございます。本番までまた近づいてきますので、教育委員会さんとも相談して、出来るだけ全校がこういう機会に見学してもらって、少しでもホーランエンヤに触れてもらう機会を作ってもらいたいと思います。ありがとうございました。

大島係長 そうですね。インタビュー等の際に聞いてみると、五大地の地区の子どもたちはよく知っているのですが、五大地以外の子どもたちはなかなかホーランエンヤ自体を知らなかったりとか観たことないという話も聞きますので、やはりこういった伝承館に来てもらうことによって、こういったすばらしい神事があるんだっていうことも知っていただきたいと思いますので、呼びかけていきたいと思います。

浅沼委員長 よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

浅沼委員長 私から一ついいですか。展示の方ですけど、中国とか台湾の人が増えている

というお話がありました。展示の方はこういった外国語対応ってどういう形でされていますでしょうか。

大島係長 はい。外国語対応のほうですけれども、リーフレットの方を作成しております。ホーランエンヤについて、このようなA3 裏表になっておりましてホーランエンヤとはどういったものなのか、始まりや見どころ、乗組員の状況や五大地についてなどを紹介するリーフレットを日本語とフランス語、中国語、韓国語、英語で作成しております。また、ポケット学芸員といったアプリなんですけれどもダウンロードすることによって英語であったり、多言語で聞くことができるようになっていまして、それで展示解説を聞くことができるようになっていて、それが、日本語とフランス語、中国語、韓国語、英語で対応できるようにしています。

浅沼委員長 ありがとうございます。あとホームページありますけれど、あれってアクセス数とかって確認できるんでしょうか。

平井支配人 はい。去年の運営協議会の時にもご質問がありまして調べたところ、その時はカウント数が取れていなかったのですが、去年の2月15日よりカウント数がとれるようになっておりますので、そちらの方を見ながら分析ができるようになったかなと思っております。

浅沼委員長 ちなみにわかる範囲でいいのですが、どのくらいのアクセスがありますか。

平井支配人 はい。平均するとだいたい700件、多かったのが、11月に1,000件という簡単な数字ですが、そういった感じになっております。

浅沼委員長 すみません。ありがとうございます。
他にございますか。

野津委員 野津ですけれどももう1つよろしいでしょうか。去年から入場料があがったと思いますが、それでも来館者としては増えていることについてのお話とかは、何もありませんでしたが影響はなかったのでしょうか。入られる人、初めての方はそんなもんだと思われているのか、広報的なものをどこまでされたのかなと思いましたので、良かったことと反省点などをお聞かせいただければと思います。

大島係長 そうですね。ホームページの方に広報させてもらってまして、特にそれに対して観覧の方からご意見というものはなくて、市民割を使って入場された方などを調査しているんですが、だいたい1%くらいなので、多くが観光客ということなので、それまでの料金を知らないという方が多いのではないかと思っています。特にそれに対してご意見をもらうということはないかなと思っております。入館料上げたことによりまして入館料の収益のほうはずかですが上がっております、昨年度が12万5,000円くらいの収支だったんですけども、今年度がだいたい16万4,000円くらいになるかなという見通しになっております。なのでそういったところで、良かったかなと思っております。

岡田事務局長 すいません、ホーランエンヤ伝承館に関しましては、先ほどの説明でもありましたが、歴史館の方から誘導もしております。歴史館から来られた方は最初から無料になっておりますので、その方々の割合のほうは毎年だいたい6~7割位になりますので、そういった部分では料金改定という部分では影響していないのかなというふうに思っております。ただ、来られる方につきましては観光客の方が多いですので、最初に来られる方は比較するものがないかなと思っております。最初からそのようなおつもりで入られていらっしゃるかなと思っております。

野津委員 すいません、今の話の続きですが、実際に来られる方を見ると6割7割の人が松江歴史館からの紹介だということね。実際に去年と一昨年とだいたい平均6,000人だったのが7,000人に増えているんですが、これの思いつく要因、イベントをやったから来られたのかなどそういったことがありますか。例えば馬瀉さんのほうで新しい現物を展示してもらったから来られたとかいうのが何かあるのか。それとも今までの展示を変えたから新たに再度来られた方もいるのかなとも思うのですが、お気づきの点があれば教えていただけますか。

大島係長 6年度につきましては、5年度に比べて増えているということで、これにつきましては先ほども申し上げました学校の観覧者数が増えているのかなと考えております。実際に11月の増加によって全体としても学校の観覧者数が5年度30校で1,016人だった、6年度は49校になっておりまして1,776人なんですけれども、7年度に向けては横這いで若干2.2%減っているような状況となっています。来ていただいた方からは、今、企画展をさせていただいていることもあって、「いろいろと迫力があって、実際に実物を観てみて良かった」というようなご意見をいただいているのですが、なかなかその辺が誘導に結

びつけられていないなと感じており、もう少しせっかく企画展をさせていただいておりますので、企画展の方をPR させてもらって、歴史館自体は観覧者数・入館者数がすごく伸びていますので、そちらを観覧した方にホーランエンヤ伝承館にも来てもらえるように呼びかけをしていきたいなと思っていますところでは。

野津委員 ありがとうございました。

浅沼委員長 よろしいでしょうか。

古藤委員 大海崎の古藤ですけれども、2点ほど、先ほど矢田の松浦さんが質問されました小学校の見学について、だいたい観ても毎年同じような学校さんしか来ていないというのがみれます。これについて今度の催行まであと3年ほどになってますけれども、若い小学生なんかは観てもらう、体験してもらおうというのが非常に重要になってくるので。ただあまり身近ではない小学校さんは少なくとも先生が言わないとわからない状況があると思う。ですから、何か策というか、教育委員会さんの方で集まれるような場があって、それが主題じゃないですけれども、こういったもので伝承館に行ってみてはいかがでしょうか、というようなアプローチを言ってもらおうというようなのを一つ考えてみてもらわないと、見てもだいたい同じようなところだけです。その辺ひとつ考えてください。

もう1点ですが、インタビューについて、対応は職員さんがやっておられるということですが、どういう方が、どういう内容でお話されているのか分かりませんので、インタビューについては少なくともこのメンバー（運営協議会委員）には、「こういうインタビューで、こういう話があって、こう対応しましたよ」というようなことが分かるようにしておいてもらわないと、これだけではインタビューの依頼があって、学校で、今中学一年ぐらいですか。ただそれだけの結果でしか報告がないんですけれども、中身がちょっと知りたいですよね。疑うわけではないんですけれども、こういう方向で答えておられると、ちょっとそれ違うよ、というような部分があったらいけないし、そういうことはないとは思いますが、この会議の後に会議録を送ってこられると思うのですが、あれと同じように、この席のメンバーには内容を知らしめていただければ。インタビューがありましたよだけじゃなくて、お願いします。

岡田事務局長 ありがとうございます。1つ目の小学校へのアプローチにつきましては、教育委員会とも定期的に松江城プロジェクトについての協議をしておりますの

で、そういった中でこういったアプローチをしていけばいいかというところ
と、学校には校長先生が集まれる会もありますので、今後そういったところ
で色々と呼び掛けていけたらいいかなと思っております。ただ、学校の方も校
外学習につきましては、近年の暑さなども鑑みまして、大変気を付けてやって
おられますので、そういったところも十分に注意して考えていただくような
呼びかけをしていきたいと思っております。

インタビューにつきましては、おっしゃるとおりこちらの方に依頼が来ま
したら、まず事前に質問事項を送っていただいて、それに対してこちらで準備
させていただいてお答えさせていただいておりますので、そういったものを
共有させていただく、その共有の流れについてはまたご相談をさせていただ
ければと思います。ありがとうございます。

古藤委員 はい。ありがとうございます。

浅沼委員長 他にございますでしょうか。

飯塚委員 馬潟の飯塚です。先ほどから教育普及ということで、いろいろプロジェクト
とか、出前講座、インタビューの対応などいろいろやっておられますけれど、
これが終わってから、子どもさんたちの感想とかアンケートとかのものはと
られておられるのか。そういったものが出てきますと、また今後のためにいろ
いろと対応もとれると思っておりますけれど、その辺どうでしょうか。

大島係長 そうですね。感想など松江城授業につきましては、学校には依るんですけれ
ども、こちらの方に感想、子どもたちが書いたものを送っていただけたところ
もあります。こちらの歴史館の方から聞くというようなことはしていないの
ですが、学校側の方からそういったことをしていただくというようなことが
ありまして、やはり伝承館に行って、観たことによって書いてある内容ですと、
なかなかこういう祭りがあるって知らなかったというような子どもたちも結
構多いなというように思っております。なので伝承館に来てもらうこと
によって、そういった神事が分かる、知ってもらう機会になるなど実感してい
るところです。

② 令和7年度の運営方針（案）について

浅沼委員長 それでは、時間もございますので、次に移らせていただきたいと思います。
次に令和8年度の運営方針について事務局から説明をお願いします。

大島係長 会議資料の4ページをお開きください。

市民に親しまれる施設を目指し、関心や理解が深まるような取り組みを引き続き行うとともに、効果的な広報を行い、入館者数の確保に努めていきたいと思っております。また次期ホーランエンヤ催行まで徐々に機運を高めるような取り組みを計画的に行っていきたいと思っております。

目標の観覧者数ですが、前回のホーランエンヤ催行前が8千人前後でしたので、その8千人を令和8年度の目標としたいと思っております。

まずは館全体に関わることでございます。次世代を担う小・中学生が水都松江市の誇るホーランエンヤへの理解を深めるために、令和8年7月1日より、市内の小・中学生の入館料を無料とします。このことについて、多くの小中学生に来ていただけるようにホームページ等で無料化についてPRしていきたいと思っております。

次に教育普及についてです。主な取り組みといたしましては、引き続き松江城授業プロジェクトにおいて、できるだけ多くの小学校に伝承館の見学を働きかけたいと思っております。10年に1度の神事ですので、どうしても実物を見ることができない子どもたちもいます。そうした子どもたちにもふるさと松江の誇るホーランエンヤについて知る機会を作っていきたいと考えています。

次に展示についてです。次期ホーランエンヤの催行に向けて機運を高めるため、また、多くの方に入館してもらうため、多目的スペースでの展示替えを計画しています。別紙1をご覧ください。昨年度もご説明させていただきました計画案です。次は、令和9年度に予定している「松江のホーランエンヤに類似の神事の写真展」の実施にむけ、準備をしていきたいと思っております。また、松江ホーランエンヤ2029ガイドを令和11年度に予定していましたが、昨年度の委員会でそれでは遅いのではないかといったご意見をいただき、実施年を令和10年度に変更しました。

そのほか、利用促進等については指定管理者から説明します。

平井支配人 はい、私は松江ホーランエンヤ伝承館の支配人、株式会社さんびるの平井と申します。宜しくお願ひ致します。着座にてご説明させていただきます。

会議資料4ページの利用促進をご覧ください。ホームページやSNSを積極的に活用して利用促進に繋げていきたいと考えております。アンケート結果からですが、近年、伝承館の事をどこで知りましたかの問いに対し、インターネット・SNSが増えてきております。特にSNSを活用する事が集客へ結びつくと考えておりますので、アップする頻度を意識してPR致します。今年度は2ヶ月に1回アップ出来ましたので、令和8年度も引き続き実施していきます。

営業訪問・広報による利用促進については、県内外の旅行会社や観光関連施

設等に営業訪問を予定しています。2年半前から実施しておりますが、先月は福岡へ行き、旅行会社約15社へ営業いたしました。松江ホーランエンヤ伝承館の事も松江ホーランエンヤの事をご存じありませんでしたので、まだまだ伸びしろがあると感じている所でございます。

館内表示については、お客様目線で分かりやすく、見やすい表示を心掛け、定期的に見直しを実施いたします。

年間パスポート購入促進キャンペーンについては来年度も実施予定ですが、やり方をもう少し工夫し、違う形で出来ると良いと思っております。

誘客イベントの開催については、次の指定管理者公募の時の申請書にも記載いたしましたが、「松江ホーランエンヤ講話」の実施を計画したく考えております。伝承館の開館記念日である10月28日に近い土日に五大地の方をお招きし、学びの場を提供したい為、講演会を実施するという計画です。講演会へ向けての相談をさせて頂ければと思っております。その時はよろしくお願い致します。

歴史館から伝承館への誘導については、松江歴史館観覧者へ松江ホーランエンヤ伝承館が無料で観覧出来るチラシを配布しておりますが、今まで日本語版しかなく、外国の方へは配布しておりませんでしたので、英語表記のチラシを作成し、現在は外国の方へも配布しております。令和8年度も継続致します

続いて施設管理については、次のページにまいります。委託業者と連携し、設備機器・庭園管理など仕様に沿って適切に維持管理を行います。修繕する際は、松江市と協議した上で実施致します。

また、半年前から伝承館の避難訓練について強化していた所、1月6日の地震を受け、改めて改善が必要な部分がありましたので、令和8年度は具体的にどこが破損したかとかどこが発火したかとか想定して訓練致します。

接客・対応については、新型コロナウイルス等、感染症に注視しながら感染予防に努め、利用者が安心・安全に利用できる施設管理を行っていきます。また下にも記載しております施設アセスメントの実施を年2回行います。これは指定管理者職員全員で約8時間かけて行う会議です。内容は半年の振り返りと利用者満足向上の為の業務見直し、そして改善活動の行動計画を立てるものです。これにより、職員の意識の統一と目標へ向けた施策が実施でき、PDCAサイクルを回すことが可能となり、質の高い接客・対応へも繋がります。以上でございます。

大島係長

令和7年度の運営方針の説明は以上です。

具体的な取り組みにつきましては、来館者の声や五大地の皆様のご意見を

伺いながら検討してまいりたいと考えております。

浅沼委員長 それでは、ただいまの報告も参考にしながら、具体的な取り組みについて、皆様からご意見等がありますでしょうか。また伝承館の展示を先ほど見られたご意見などもいただければと思います。

古藤委員 伝承館は伝承という部分で非常に重要視される。さっきからのお話の中で展示という部分が非常に多いんですけども、やはり動きのあるもの、手っ取り早く言うとビデオなんかはそうですが、それ以外も含めて動きがあるようなものを考えていただくと。展示は観て動いていないわけですから、そういうものだけじゃなくて、動きのあるものを検討、考えていただけないかなと思っております。どうでしょうか。

大島係長 ありがとうございます。そうですね。以前にVRで令和元年に撮影されたもので馬潟地区の權伝馬船から360度VRの動画を撮ったものがありまして、こちらの方はHPには掲載させていただいているんですけども、そういったものが見れる機器もございまして、それが今後運用できないか検討しているところです。

古藤委員 ですから、各五大地にね、極端に言ったら33年、44年ぐらいのビデオなんかがあると思うんですよ。我々はもっと本番は重要視するわけですが、例えば今の子供たちに知っていただきたいのはその前段階の準備とかそういうものも、こういうことをやって成り立っているんですよ、というようなビデオも各地区持つ部分もあると思うんですよ。別に古くなくてもいいんですけど、44年でも60年でも。例えば擬宝珠を作るのにこういう町内の方が集まってこういう風にしてやっているんですよ。衣装も仮縫いを地区の皆さんに来てもらってやっているんですよというような部分をもっと一つのPRする部分の中に。本番は当たり前のような部分ですけど、もっと子供たちに知ってもらいたいのはそういう部分というか、「ホーランエンヤっていうのはこういうことをまずやって、いろいろやっているんだ。」「3年前からやっているんだ」とかそういう部分や知らせる部分が出来ないかなと思っております。

岡田事務局長 ありがとうございます。先ほど指定管理の予定の中にもありましたが、そういったホーランエンヤ講座のような五大地の皆様にもご協力いただいといるようなこともありましたし、あとおっしゃるようにこちらの事務局の方で考えましたらやはり物を中心とした展示というものを考えてまいりますので、

今後準備段階とかそういったものの動きということであれば、五大地の皆様のご協力がなければ叶わないと思いますので、そういったところで色々と相談させていただきながら、こちらの方でこういったものがやっていけるかなどをまた検討させていただいて、またその上でご協力をご相談させていただくこともあると思いますのでよろしくお願いいたします。

浅沼委員長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

花形委員 松江商工会議所の花形と申します。2点ほどお聞きしたいことがあります。出前講座のこの職員というのはどういう方が出前講座に行っておられるのかというのと、別紙1の方で多目的ホールの展示があるんですけども、そこへの歴史館からのお客様の誘導というのがありますけれども、歴史館の企画展が今度のホーランエンヤまでで伝承館との連動した企画展があるのかどうかをお聞きしたいです。

大島係長 まず出前講座ですが、今回出前講座の依頼がありましたのがいずれも小学校の方でしたので、今うちの方で小学校、学校の担当の教育普及をする専門職員のほうがおりまして、そちらの職員のものが各学校の方に出向きましてパワーポイントを使って説明とどういった歴史があつてとかそういったことについてご説明をさせていただく出前講座の方を行っております。

あと、企画展の方ですが、今歴史館の方で次回のホーランエンヤまでの期間でホーランエンヤに関する展示は現在計画していない状態になっています。

花形委員 つづいて、いいですか。

出来れば盛り上げるという意味では是非企画展を検討していただけるとありがたいなというのと、それと学校はそういう感じなんですけれども、学校以外のところの出前講座や市民講座などあると思いますが、それはぜひ職員というよりは学芸員というようにしていただけると、参加してみようと思う人が多くなると思うので、学芸員の方に説明とか講座を開いていただいて、学芸員がやってますよというのをアピールしていただけるとありがたいなと思います。さっきの古藤さんの言われたような形の外国人の方を含めて今、観光客の方皆さんそうなんです、体感とか体験とか観るだけではない何かを感じるというのが人気ですので、それを自分たちがインスタにあげてPRしてくれるというのが循環になっていますので、ビデオもそうですが、せっかく権伝馬船の小さいのが庭にあるので、衣装を着て権伝馬踊りを体験するとかそういった何か自分がやってみるというのを一緒にしていただいて、その体験した

方々は勝手にインスタとかにあげてくれるので、そういう仕組みも併せてやっていただけたらPR効果があるんじゃないかなと思いました。

岡田 事務局長 はい。ありがとうございます。出前講座につきましては今は小学校からの依頼が多いので、教育指導講師のほうが行っておりますが、またどういったところから依頼かということで派遣するものについてはその時々で考えていきたいと思います。あと、歴史館との連携展示で具体的な企画展というのは今はまだありませんけれども、隣り合った建物ですので、誘導ということをしておりますので、まずは歴史館のほうでホーランエンヤ伝承館、ホーランエンヤについて知っていただくという意味で、ロビーやホール展示もございますので、そういったところも全体活用しながら、一体としてPRしていきたいと思います。体験とか体感をしていただくにはやはり先ほども言いましたように五大地の皆様と一緒にやっていきたいとおもいますので、どうぞよろしく願い致します。

浅沼 委員長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

野津 委員 要望なんですけれども、ホーランエンヤの仲間たちというのは9年度されると思うんですが、たしかにホーランエンヤとかいろいろあるんですが、日本三大船神事は、大阪の「天神祭」、広島島の「管弦祭」、松江の「ホーランエンヤ」とあるわけなんですけれども、そういったコーナーを少しでも日本三大船神事、大阪天満宮、宮島管弦祭、松江のホーランエンヤをポンポンと大きくでるとまだいいような気がするんですよ。

神事は神事と言いながらも、日本の三大船神事ってなーに？って名前では宣伝なんかもするんですが、現実問題ホーランエンヤ伝承館に来たら大阪の天満宮はこんなもん、宮島管弦祭はこんなもんですっていうのがやっぱり現物で見ると、はっきり言いますけどね観た人は、「ホーランエンヤはとてもこんな比じゃない」と言われる。具体的に言うと、大阪天満宮の管弦祭の時にあの川にホーランエンヤの櫓伝馬船浮かべたらそれだけでみんながびっくりするといわれる。そういったことをパッと言ってもらえると嬉しいのでいいかなと思います。これは要望です。

大島 係長 ありがとうございます。

古藤 委員 今、野津照雄委員が言われたとおりで、我々は仲間とは思っていません。やるのだったら管弦祭と天満宮だと思います。実際の皆さん方の職員さんの考

えと実際やった者との考えがね、相当ズレがあるね。先ほど花形委員が言われた部分の中で出前講座でも全然中身が分からないから、本当に極端な話まともなことを答えてやっておられるのか、五大地で馬淵と大井でも全然違うし、中身は。それをどういう形で答えをされているか分からないけれど、そういう質問じゃないということであれば問題はないかもしれないが、そういうことがあるので私が言ったようにインタビューも含めて中身がね、このメンバーにはやっぱり知りたいですよ。ほんとにそうやっておられるのか？と。もちろん伝承館に人を集めるというのも重要ですが、そういうことも必要と思います。

岡田事務局長

はい。ありがとうございます。

今、年に1度こういった形で報告させていただいておりますが、色々やっていく中で随時共有していくということをやっていきたいと思います。また、外に向かってこちらが答えたり、アクションを起こしたりするというようなときにはまた五大地の皆様にもそういった部分が適切な答えであるかどうかというようなところは都度確認させていただいて、インタビューとかでいいますと各学校で聞いてこられる質問というのは似通ってきておりますので、1度内容を確認いただければ、後は同じ質問が来た場合にそれでやっていくという一つ流れができましたら。そういった形にさせていただきたいなと思います。

古藤委員

少なくとも我々、全員じゃなくてもいいけど1番船に聞いてもらったら。

岡田事務局長

ありがとうございます。流れにつきましてもまたご相談させていただければと思います。

浅沼委員長

他にございますでしょうか。この機会に。年に1回しかございませんので。

花形委員

僕が言うのも変なんですけれども、昔五大地の皆さんにインタビューとかがあったときに、五大地の人に対応していただいていた時代も少しあったので、逆に内容によっては五大地の皆さんに来ていただいてそこで色々語っていただいたらいい場合もあるんじゃないかなと思いますので、その辺も併せてご検討いただけたらありがたいなと思います。

岡田事務局長

ありがとうございます。確かに今年玉湯学園さんのほうは学園から直接五大地の方にご依頼されたようで、我々もインタビューということで対応しま

したけれど、具体的な内容については五大地の方から依頼していただいでご説明しておられることもありましたので、確かにいろんな思いであるとかそういうことを聞かれる場合には、お声がけさせていただいて対応させていただいてご対応が可能かどうか聞かせていただきたいと思ひます。ありがとうございます。

浅沼委員長　　はい。他にございますでしょうか。

あの私、去年江津の「ホーランエー」が4年ぶりにやられるということで観に行きましたけど、江津の人たちがやはり松江の「ホーランエンヤ」のことを知らないっていうことがありまして、やっぱり他所の地域に行ってもあれだけNHKとかで祭り当日が放映されたりして露出はしてますけれども意外に全国的にみると知られていないってところもございまして、もうちょっとなんかもっと知っていただくということで、予算とか色々限りはあると思ひますが、何か工夫していただけないかなというふうに思ひます。たぶん他の地域の人に日本三大船神事って言っても分からないというような状況じゃないかなと思ひまして、もう少し知っておられるかなと思ひていたんですが、結構みんな知らなくてガックリした印象とか感想を持ちましたので、少し頑張っただきたいなと思ひました。

他にご意見ございますでしょうか。

浅沼委員長　　そうしましたら、だいたい意見が出たようですので、事務局の方で今日出たご意見是非お含みいただきまして、前向きに取り組んでいただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

③ その他

浅沼委員長　　そう致しますと最後に「③その他」について事務局から何かありますでしょうか。

岡田事務局　　はい。会議資料の6頁をお開きください。委員名簿の一番下に任期を記載しておりますが、委員の任期は2年となっていることから、ご覧のように今年の3月31日までとなっております。事務局といたしましては引き続きお願ひしたいと考えておりますが、安部委員につきましてはご退任されることとなりました。安部委員には、運営協議会発足当初から委員を引き受けていただき、伝承館がよりよいものとなるようにご発言をいただき、心より感謝申し上げます。

安部委員のほうから一言ご挨拶をいただければと思ひます。

安部委員 安部でございます。ホーランエンヤ伝承館が開設された最初から私は委員として参加させていただいておりました。もう10年も過ぎますので、今回を持ちまして、一応委員を終わらせていただきたいと思います。長い間ありがとうございました。

一同 ありがとうございました。

浅沼委員長 安部委員さん長い間ありがとうございました。お世話になりました。そういたしますと、これで会を終了したいと思います。進行を事務局にお返しいたします。ご協力ありがとうございました。

(5) 閉会

岡田事務局 浅沼委員長様には、円滑な議事運営をしていただきありがとうございました。

本日皆様方から頂戴しましたご意見を今後の取り組みの参考にして参りたいと存じますので、今後ともご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上を持ちまして本日の会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。